



H167-205-201 シャイニーバッグ&パスケース(銀) 202 シャイニーバッグ&パスケース(金)



デザイン/ハマナカ企画

☆でき上がり寸法 バッグ:口幅約33cm、深さ約22cm、マチ約9.5cm
パスケース:たて約10cm、よこ約7cm

<2020S/S>
この作品はレシビ5枚です(5-1)

☆使用糸 チューブベリ(30m巻)

	使用色	使用量
(201)	シルバー(No.6)	0.9巻
(202)	ゴールド(No.5)	0.9巻

ロマーレ(30m巻)

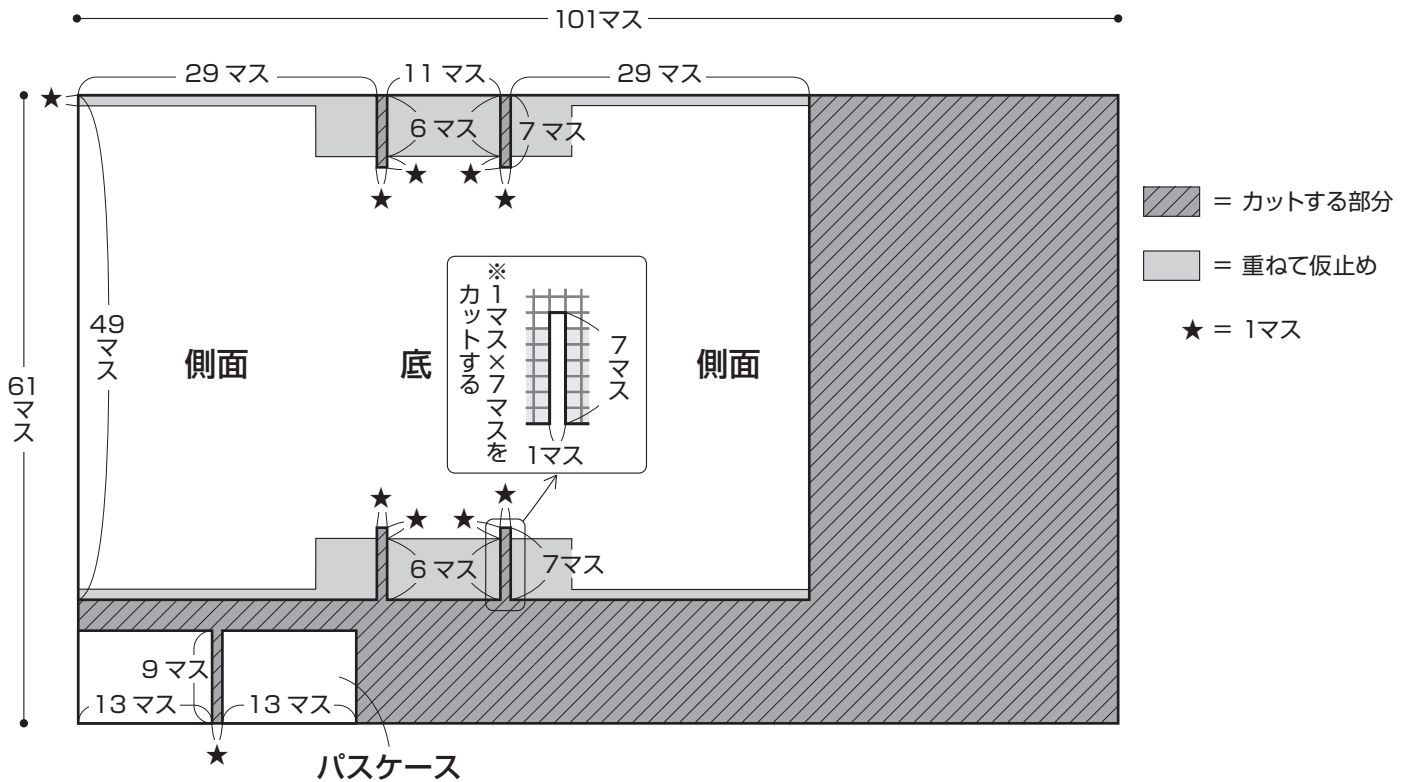
	使用色	使用量
(201)	シルバー(No.112)	0.6巻
(202)	ゴールド(No.111)	0.6巻

☆副資材 ・ハマナカあみあみファインネット (201) (H200-372-102)銀………1枚
(202) (H200-372-101)金………1枚

☆用意するもの クラフトハサミ(H420-001)、ボンド(H204-513)、メジャー、洗濯バサミ

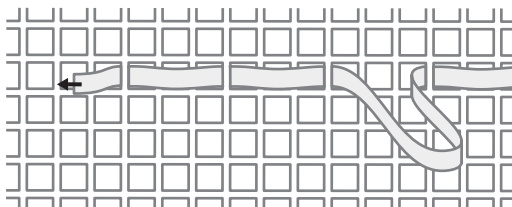
1 ネットをカットし、組み立てます

下図のようにネットをカットし、側面は両端を1マスずつ、底は側面と6マス重ねて別糸で仮止めしておきます。

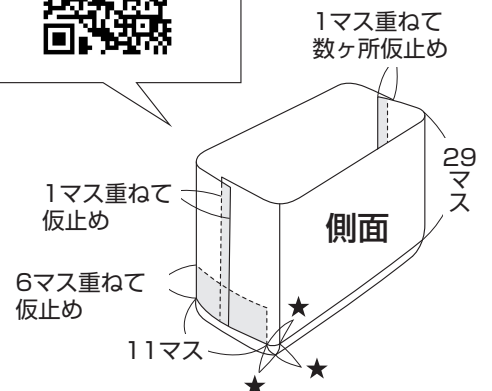


<テープ手芸の基礎 1>

ロマーレ、チューブベリに表裏はありません。ネットを2~3回拾ったら、テープをまっすぐ引きます。無理に引くとネットが切れる場合があります。
※ファインネット金・銀は多く通しすぎると、摩擦で表面の箔が剥がれることがありますのでご注意ください。
※ロマーレは進行方向以外に引くとシワがよったり、折り目がつく場合がありますので、テープを通した向きにまっすぐ引きましょう。



余ったネットで作れる
ネット固定パーツをご紹介します!



2 テープをカットし、ネットに通します

テープを指定の長さ・本数にカットします。
 テープ手芸の基礎(5-1/5-3)を参照しながら、側面・底ともに
 チューブベリールとロマーレを1本ずつ交互に通します。
 テープの端にはボンドをつけてカットします。

テープカット数

側面	チューブベリール	85cm×15本
	ロマーレ	85cm×14本
底	チューブベリール	50cm×6本
	ロマーレ	50cm×7本

テープ端の始末の
 仕方は (5-3) ページ参照

—— = チューブベリール

—— = ロマーレ

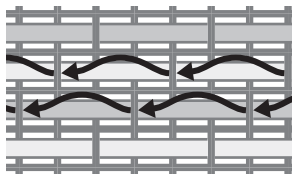
← = 通し始め位置

← = 通し終わり位置
 (テープをカットする)

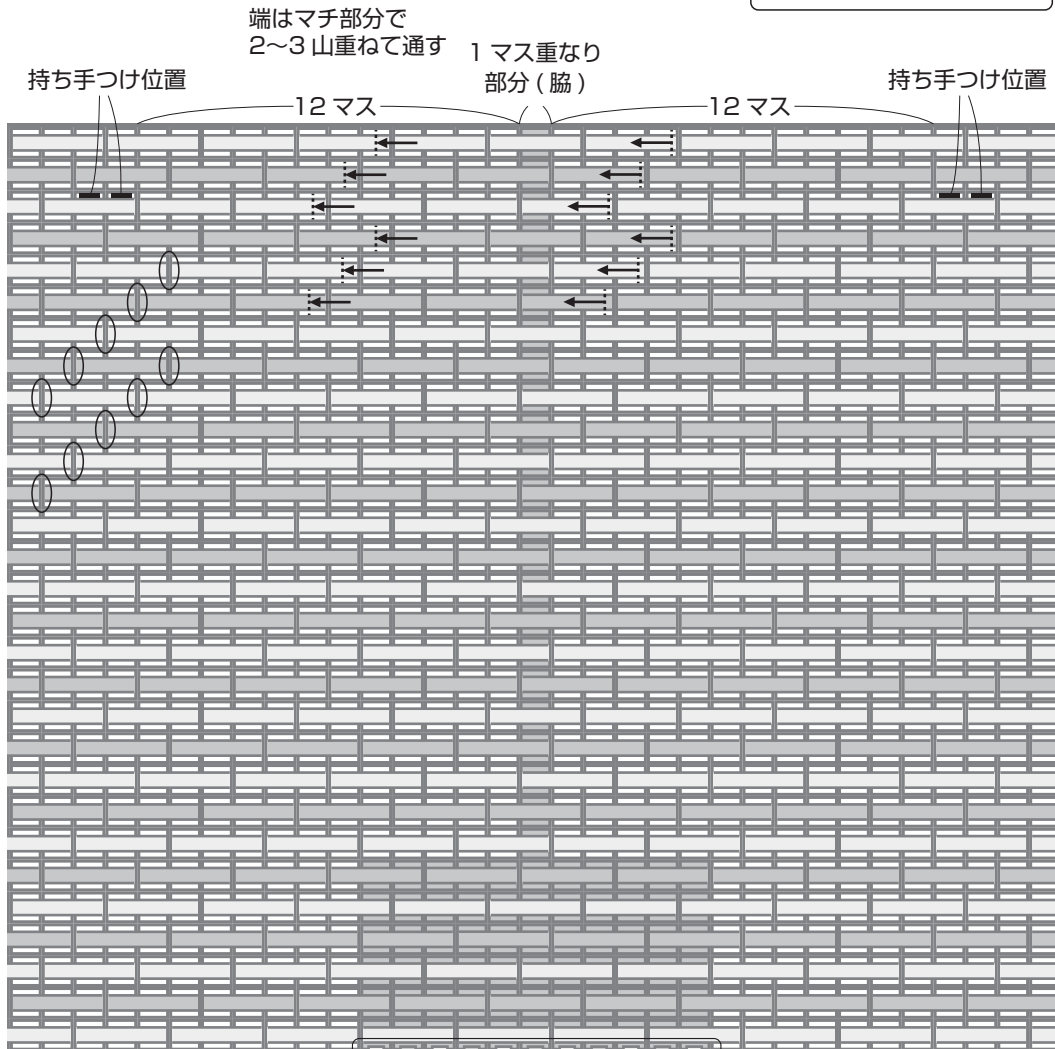
側面

側面の通し方ポイント!

側面は上から順に通します。
 通すときは「ネット2本
 とばして1本拾う」の
 くり返しです。
 1段ごとに通す位置を
 1本分ずらします。
 ネットが階段状に表に
 できます。



バッグ



※スペースの都合上、側面の
 通し方図を省略しております。

底

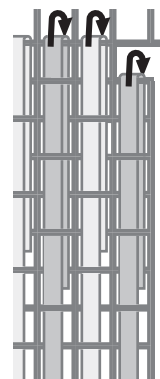
底の通し方ポイント!

底はテープの端を約10cm残して
 通し始めます。通すときは、「ネット
 1本とばして1本拾う」のくり返し
 です。1段ごとに通す位置を1本分
 ずらします。ネットが1本ずつ
 交互に表にできます。



底のテープの始末 ポイント!

底のテープの両端は
 図の位置までテープを
 通して裏側へ折り返し
 ます。2~3山重ねて
 カットします。

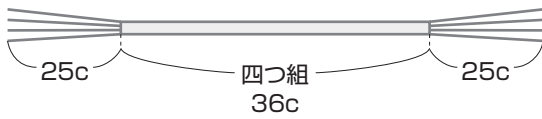


3 持ち手を作ります

H167-205-202₁ (5-3)

チューブベリで四つ組の持ち手を2本作ります。

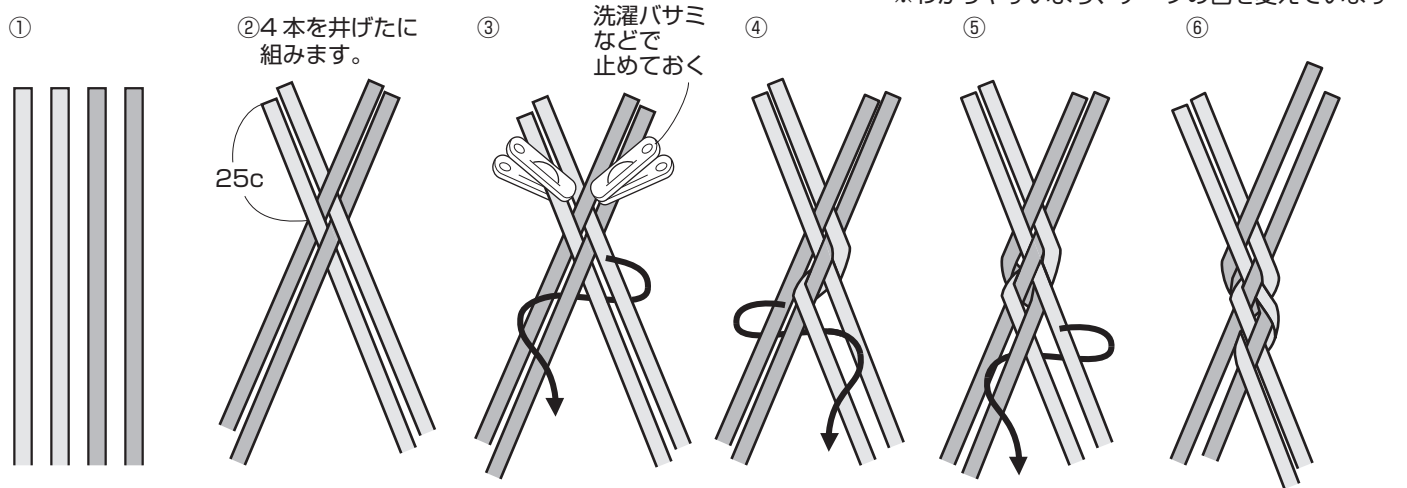
持ち手 (2本) チューブベリ (100cm×4本) を2組



テープカット数

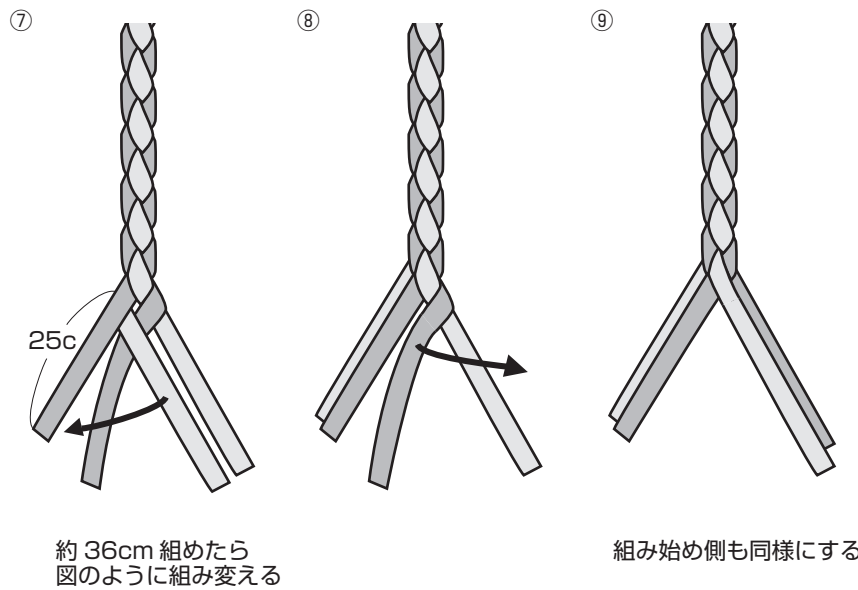
持ち手	チューブベリ	100cm×8本
-----	--------	----------

〈四つ組の組み方〉



※わかりやすいよう、テープの色を変えています

テープをしっかりと引いて間をつめながら④・⑤をくり返す



途中でわからなくなったら

最後の組み目を見て、上に重なっているテープ側にあるもう1本のテープを動かします。

このテープを動かす このテープを動かす

上に重なっているテープ

約 36cm 組めたら
図のように組み変える

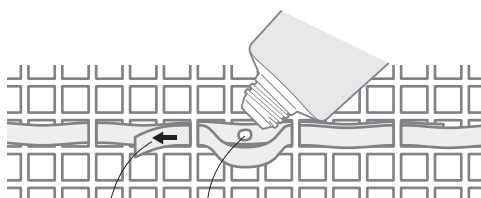
組み始め側も同様にする

〈テープ手芸の基礎2〉

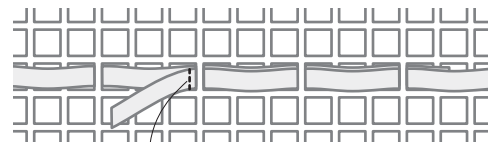
通し終わりは、5cm程度重ねて通し
ボンドを少量つけ、根元でテープをカットします。
※ボンドをつけすぎないように注意してください。

ボンドがつけにくいときは ...

ボンドから直接つけにくい時は
紙などに少量出してつまようじ等
先の細いものでつけましょう。



②テープを引く ①ボンドをつける



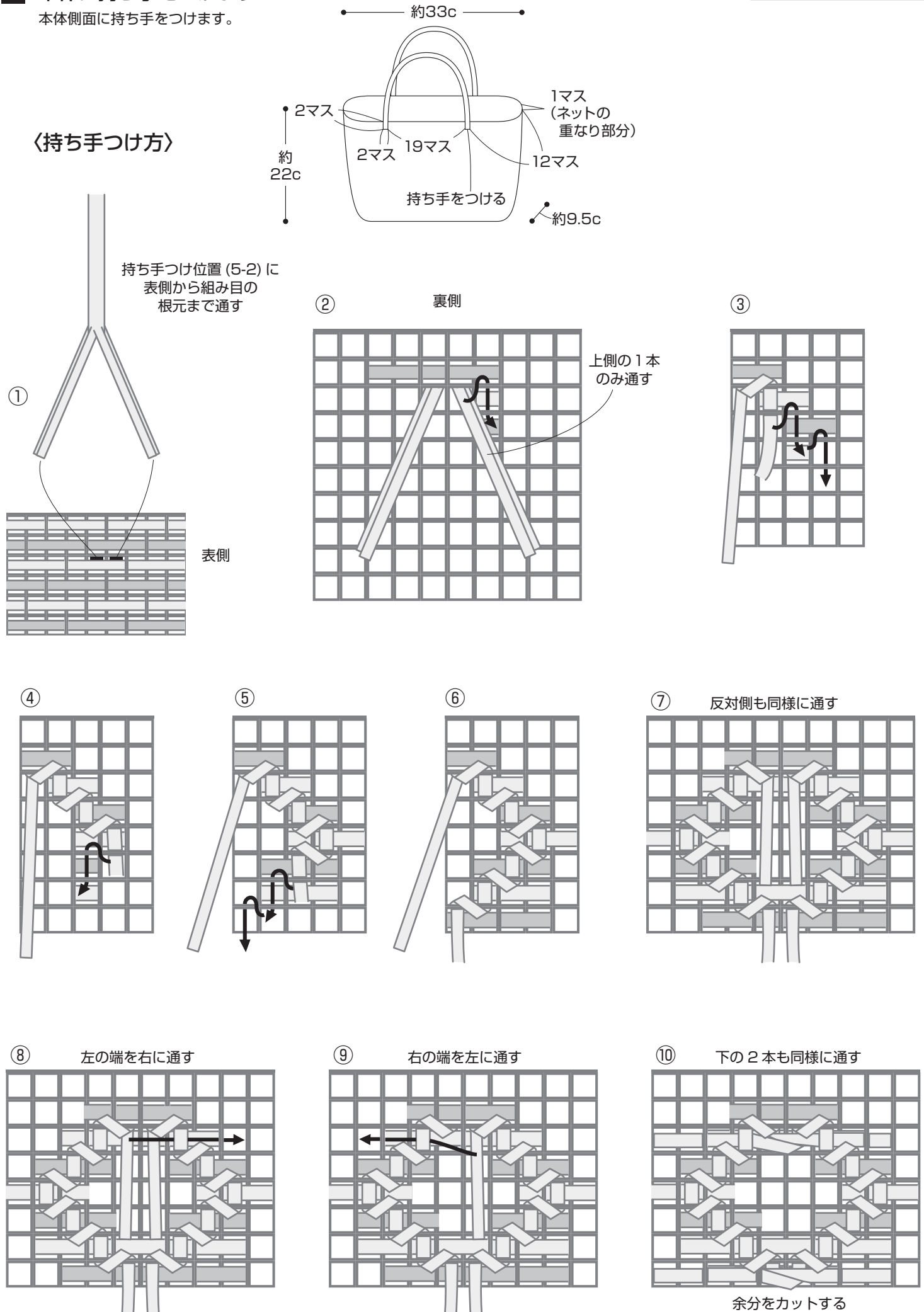
③カットする

4 本体に持ち手をつけます

H167-205-202¹ (5-4)

本体側面に持ち手をつけます。

〈持ち手つけ方〉



5 パスケースを作ります

H167-205-202¹(5-5)

テープを指定の長さ・本数にカットします。
 図のようにネットを配置し、テープ手芸の基礎(5-1/5-3)を参照しながら、本体にチューブベリールとロマーレを1本ずつ交互に通します。
 テープの端にはボンドをつけてカットします。
 底をロマーレで巻きかがりします。
 ひもをチューブベリールで作り、指定位置につけます。

テープカット数

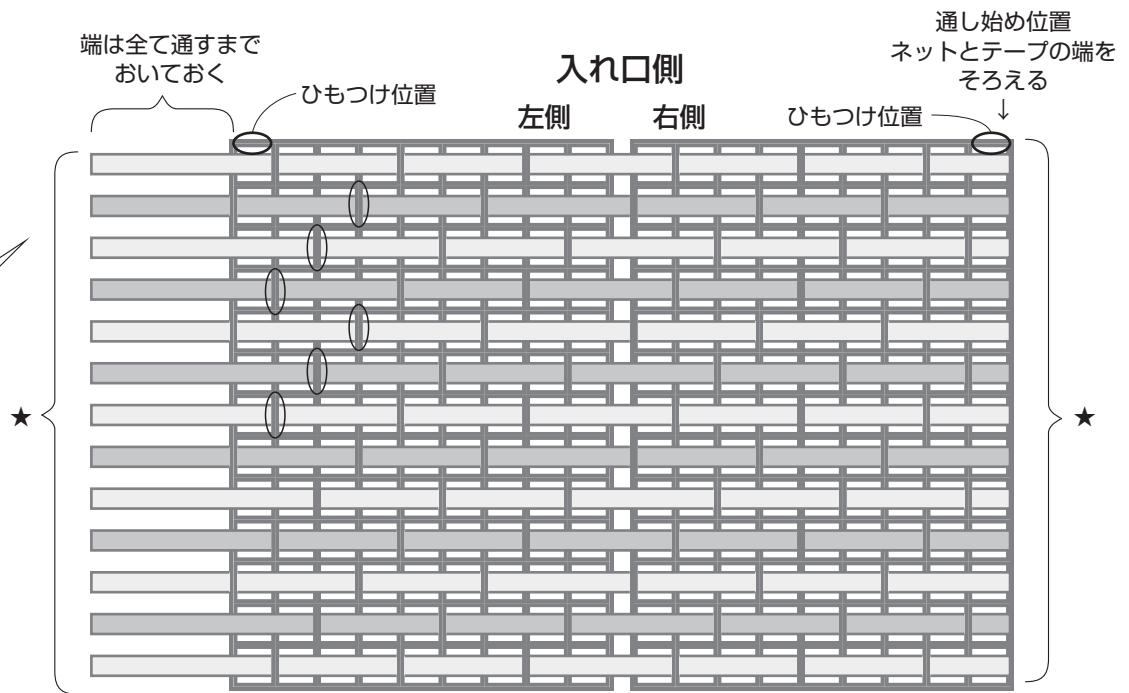
本体	チューブベリール	28cm×7本
	ロマーレ	28cm×6本
底巻きかがり	ロマーレ	28cm×1本
ひも	チューブベリール	44cm×1本

本体

—— = チューブベリール
 —— = ロマーレ

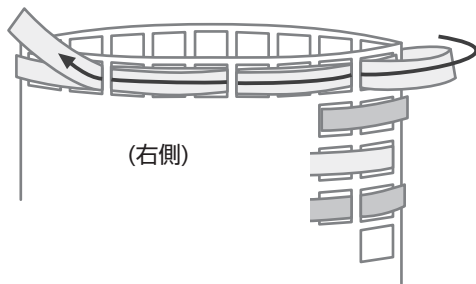
パスケースの 通し方ポイント!

本体は上から順に通します。
 通すときは「ネット2本とばして1本拾う」のくり返しです。
 1段ごとに通す位置を1本分ずらします。
 ネットが階段状に表にできます。



〈本体の仕立て方〉

★どうしを突き合わせて左側の残しておいたテープを右側のテープに重ねて通す
 2〜3山通したらカットする (5-3) 参照



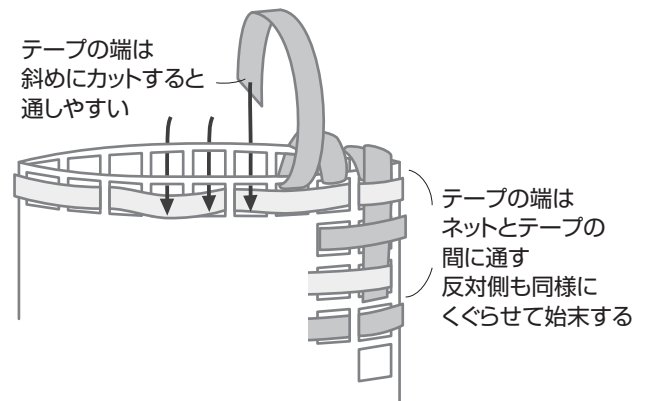
注意! 端の通し方

ネットの端は毎段通し方が異なります。
 通し方図をよく見て注意して通しましょう。

底側

〈底側の巻きかがり〉

テープの端は斜めにカットすると通しやすい



〈ひものつけ方〉

①ひもつけ位置にひも端を外側から通し、片方の端を約1.5cm残し、図のように13cmのわにします。

②長い方のテープの端をわの根元にゆるめに2回巻きつけます。

③巻きつけたループの中にテープの端を差し込んでしっかりと引きます。

④本体のネットとテープの間に余分なテープをくぐらせてボンドで止めてカットします。

